



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 東  
コード番号 6837 URL <https://www.kyosha.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登  
問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,682	3.2	921	105.9	602	44.2	380	106.3
2023年3月期第3四半期	18,110	14.7	447	△2.4	417	△14.9	184	△30.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,270百万円(△18.9%) 2023年3月期第3四半期 1,566百万円(119.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	26.39	—
2023年3月期第3四半期	12.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,588	8,696	34.4
2023年3月期	23,879	7,446	30.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,454百万円 2023年3月期 7,233百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,000	2.2	1,000	48.8	830	34.0	560	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	14,624,000株	2023年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	163,887株	2023年3月期	229,487株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	14,425,947株	2023年3月期3Q	14,361,498株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界は、半導体不足の緩和により、自動車向けは回復が見られたものの、その他分野の在庫調整の長期化や物価上昇を背景に需要は減少しました。また、中国経済の減速懸念や世界的な金融引き締めに伴う影響、急激な為替変動、エネルギー価格の高止まりなどから、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、主力の自動車関連分野の受注が回復したことで堅調に推移しました。実装関連事業では、航空機、産業機器向けの受注好調に加え、新規市場開拓により通信機器向けの受注が大幅に増加した結果、国内の売上高は前年同四半期を上回りました。

海外においては、ベトナムでサプライチェーン体制の再編により中国から生産移管を行った北米向けの自動車関連分野の受注が大幅に増加しました。一方、中国で事務機分野や電源等の電子部品分野を中心に受注が減少しましたが、円安の為替影響もあり、連結売上高は、18,682百万円（前年同四半期比3.2%増 572百万円の増収）となりました。

利益面は、電力料等の製造経費の高騰が続いたものの、ベトナムと国内の実装関連事業は、引き続き大幅な増収により増益となり、好調に推移しました。中国は受注減にあわせてコスト改善を進めたことと、付加価値の高い自動車向け金属基板が増加し増益となりました。これらの結果、営業利益は921百万円（前年同四半期比105.9%増 474百万円の増益）、経常利益は602百万円（前年同四半期比44.2%増 184百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は380百万円（前年同四半期比106.3%増 196百万円の増益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に受取手形及び売掛金の増加379百万円、電子記録債権の増加276百万円、製品の減少438百万円、有形固定資産の増加456百万円等により、24,588百万円（前連結会計年度末比708百万円の増加）となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、主に支払手形及び買掛金の増加194百万円、短期借入金の減少728百万円等により、15,892百万円（前連結会計年度末比540百万円の減少）となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の増加335百万円、為替換算調整勘定の増加866百万円等により、8,696百万円（前連結会計年度末比1,249百万円の増加）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、事務機分野や電源等の電子部品を中心に、在庫調整の影響から需要は低迷しましたが、自動車向け需要の回復と、国内の実装関連事業が好調に推移したことから売上高は堅調に推移しました。

利益面は、ベトナムと実装関連事業の好調により、通期予想の達成が見通せる状況にきております。

一方、第4四半期の業績予想は、主に中国経済の減速に加え、国内外ともに在庫調整の影響が続くなど、先行きが不透明であることを総合的に勘案し、通期の連結業績予想につきましては、2023年10月31日の発表からの変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,233	5,045
受取手形及び売掛金	3,652	4,032
電子記録債権	946	1,223
製品	2,407	1,968
仕掛品	560	619
原材料及び貯蔵品	1,666	1,423
その他	1,489	1,763
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	15,950	16,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,255	5,575
減価償却累計額	△3,526	△3,827
建物及び構築物(純額)	1,729	1,747
機械装置及び運搬具	11,481	12,798
減価償却累計額	△7,427	△8,304
機械装置及び運搬具(純額)	4,054	4,494
土地	724	724
建設仮勘定	23	24
その他	1,645	1,787
減価償却累計額	△1,026	△1,172
その他(純額)	618	614
有形固定資産合計	7,149	7,605
無形固定資産	25	20
投資その他の資産		
投資有価証券	348	441
繰延税金資産	80	67
長期滞留債権	594	665
その他	328	383
貸倒引当金	△596	△667
投資その他の資産合計	755	889
固定資産合計	7,929	8,516
資産合計	23,879	24,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,925	3,120
電子記録債務	976	969
短期借入金	5,049	4,321
1年内返済予定の長期借入金	465	581
リース債務	46	45
未払法人税等	187	268
賞与引当金	221	204
その他	1,010	884
流動負債合計	10,884	10,395
固定負債		
長期借入金	4,821	4,653
リース債務	73	56
退職給付に係る負債	498	519
その他	155	267
固定負債合計	5,548	5,496
負債合計	16,432	15,892
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,186	1,202
利益剰余金	3,648	3,983
自己株式	△25	△18
株主資本合計	5,910	6,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	125
繰延ヘッジ損益	△74	△148
為替換算調整勘定	1,396	2,263
退職給付に係る調整累計額	△67	△55
その他の包括利益累計額合計	1,322	2,184
非支配株主持分	213	242
純資産合計	7,446	8,696
負債純資産合計	23,879	24,588

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	18,110	18,682
売上原価	15,205	15,237
売上総利益	2,905	3,445
販売費及び一般管理費	2,457	2,524
営業利益	447	921
営業外収益		
受取利息	3	10
受取配当金	6	7
仕入割引	16	4
受取手数料	5	—
雇用調整助成金	28	—
雑収入	33	18
営業外収益合計	94	41
営業外費用		
支払利息	98	278
為替差損	24	71
売上債権売却損	2	2
雑損失	—	9
営業外費用合計	124	361
経常利益	417	602
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産売却損	5	1
固定資産除却損	10	8
その他	0	—
特別損失合計	15	10
税金等調整前四半期純利益	403	596
法人税、住民税及び事業税	221	211
法人税等合計	221	211
四半期純利益	181	385
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	184	380

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	181	385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	57
繰延ヘッジ損益	△23	△74
為替換算調整勘定	1,421	890
退職給付に係る調整額	10	11
その他の包括利益合計	1,384	885
四半期包括利益	1,566	1,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,528	1,239
非支配株主に係る四半期包括利益	37	31



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。